

Oracle DB ユーザ選択バッチ PD 書

1. 概要

Oracle DB に接続用に数字キーを押下することでユーザを選択し、SQL Plus でログインを行うバッチを作成する。

2. ファイル名

ファイルの名前は以下の通りとし、GitHub から zip ダウンロードを行った際、文字化けをしないようにファイル名には英語名を使用する。

名称区分	ファイル名
和名	02_OracleDB ユーザ選択バッチ
英語名	02_SQLPlus_LoginUserSelect

3. プログラム処理

本バッチで使用する処理を以下に記述する。

3.1 ユーザ選択処理

1)起動時パラメータ(第一パラメータ)がない場合

 ユーザ選択画面を表示し、ユーザの入力値を【param】に格納する。

2)起動時パラメータ(第一パラメータ)がある場合

 第一パラメータを【param】に格納する。

3.2 ログイン処理

【param】の値を使用し、ログインするユーザを決定し、SQL plus のユーザ指定パラメータに設定し実行する。

ユーザー区分	ユーザ名	格納変数名	説明	備考
0	sys	—	Oracle 共通管理者ユーザ	※ 1
1	sys	—	Oracle 共通管理者ユーザ	
2	TEST_SCM	【user001】	Oracle 一般ユーザ	※ 2
3	test01	【user002】	Oracle 一般ユーザ	※ 2
4	test02	【user003】	Oracle 一般ユーザ	※ 2
5	user1	【user004】	Oracle 一般ユーザ	※ 2

【特記事項】

※ 1 ログイン時に Alter Session コマンドをクリップボードにコピーする

※ 2 環境依存ユーザをハードコーディング。外部 CSV 化やログ取得は行わない。

3.3 終了処理

実行された SQL plus コマンドの戻り値を判定する。

戻り値が 1 以上の場合、処理失敗とし、選択されたユーザの値と実行時戻り値を画面に表示する。

4. 修正履歴